

第24回 文教大学 日本語教育夏期講座

対 象：日本語教育に携わっている方、または日本語教育に関心のある方。埼玉県内在住または在勤の方。

目 的：日本語教育についての理解を深める。

期 日：令和8年7月30日(木)

会 場：ZOOM 利用によるオンライン開催

講義・発表内容

講義① 「読解授業における再話活動の実践

—学習者の多言語リソースを活かした授業デザイン—
エルデネービンデリア（文教大学非常勤講師）

再話とは、読んだ内容を原稿を見ずに自分の言葉で語り直す活動であり、教室活動としても注目されるようになってきました。講義では、モンゴルの大学での再話活動の実践を紹介しながら、相互行為の特徴や使用言語の様相を談話データとともに見ていきます。再話活動における使用言語の設定は学習者の言語能力や背景に応じた工夫が求められますが、近年注目されるトランスランゲージングの視点から、学習者の多言語リソースを柔軟に活かした実践の可能性について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

講義② 「「ぎこぎこ」と「きこきこ」はどう違う？

—学習者の意味推測から見えたオノマトペの理解の難しさ—
柏 晨悦（お茶の水女子大学非常勤講師）

「ぎこぎこ」と「きこきこ」の違いは何でしょうか。日本語にはこのようなオノマトペが多く、日常会話でもよく使われていますが、日本語学習者にとっては意味の把握が難しい表現でもあります。学習者の意味推測を手がかりに、そのつまずきの特徴を紹介しながら、どのような支援が可能かを、皆さんと一緒に考えていきます。

【お申込みフォーム】 <https://form.os7.biz/f/76fc97c2/>

文教大学言語文化研究所

夏期講座

令和
8年度

7月30日(木)

日本語教育夏期講座

講義① 9:10~10:40

「読解授業における再話活動の実践—学習者の多言語リソースを活かした授業デザインを考える」

エルデネー ビンデリア (文教大学 非常勤講師)

ZOOMによる
オンライン開催

講義② 10:50~12:20

「ぎこっこ」と「きこっこ」はどう違う？
—学習者の意味推測から見たオノマトペの理解の難しさ—

柏 晨悦 (お茶の水女子大学非常勤講師)

英語教育夏期講座

講義① 13:10~14:40

生成AI時代の英語指導を考える
—「話す力・書く力」の育成にむけて

田地野 彰 (名古屋外国語大学・京都大学名誉教授)

ZOOMによる
オンライン開催

講義② 14:50~16:20

Extensive Reading, Literacy Development
& Critical Thinking

Ann Mayeda (甲南女子大学教授)

7月31日(金)

中国語教育夏期講座

講義① 13:10~14:40

中国の文学作品に触れてみよう
—自分の頭で読んでみる—

藤井 達也 (元埼玉県立和光国際高等学校教諭)

ZOOMによる
オンライン開催

講義② 14:50~16:20

語学学習の視点から見る日中の文化差

朱 虹 (文教大学非常勤講師)

書写書道教育夏期講座 Aコース

※対面開催 (文教大学越谷校舎)

講義① 10:50~12:20

楷書または行書による「臨書学習」
(中国の基本古典を中心に)

講義② 13:10~14:40

「臨書学習」を基にした「創作」
(半切または半切1/2)

講義③ 14:50~16:20

制作した作品の相互鑑賞、鑑賞演習

荻田 哲男 (文教大学非常勤講師)

書写書道教育夏期講座 Bコース

※対面開催 (文教大学越谷校舎)

講義① 10:50~12:20

国語科書写指導の基礎・基本①

講義② 13:10~14:40

国語科書写指導の基礎・基本②
及び毛筆実技①

講義③ 14:50~16:20

毛筆実技②

豊口 和士 (文教大学)

※ 受講料無料

お申込締切: 7月24日(金)

【お申込メールフォーム】QRコード⇒



お問い合わせ

HP: <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>

TEL: (048)974-8811

FAX: (048)974-8012

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 文教大学大学院附属言語文化研究所